

収支報告

1. 収入の部

* 税抜

費目	内訳	金額 (円)
審査料	トラディショナル・コンテンポラリー部門122名×8,000円、ミニチュアキルト部門50名×5,000円	1,226,000
作品集売上	1,000円×231冊	231,000
懇親会参加費	8,000×86人、招待7名	688,000
特別講習会参加費	2,500×22人、2,000×45人、招待22人	145,000
指定正味財産	クラウドファンディングによる寄附金	610,000
日本手芸普及協会 (特別会計)	日本手芸普及協会一般歳入より充当	3,162,600
合計		6,062,600

2. 支出の部

費目	内訳	金額 (円)
広告宣伝費	キルト誌広告125,000円×1回、チラシ制作 (デザイン外注費+印刷費 126,000円)	251,000
審査料	審査料369,092円、交通費78,722円、審査通知等送料76,360円、集計外注費25,700円、雑費55,224円	605,000
展示会費	会場費518,090円、設営310,000円、パネルポスター116,050円、その他雑費163,860円	1,108,000
表彰関係費	賞金2,240,000円、賞品・賞状147,740円、送料77,260	2,465,000
図録制作費	印刷費158,000円、誌面デザイン114,400円、作品撮影60,000円	332,400
懇親会費	90名×7,273円、警備費9,091円、装飾40,000円、雑費69,139円	771,800
特別講習会費	仲介手数料 (交通費・宿泊費含む)	448,000
決済等手数料	クラウドファンディング決済手数料、賞金振込手数料	81,400
合計		6,062,600

みなさまからのご支援のおかげで
協会からの繰り入れ額を減らす
ことができ、
特別講習会も開催できました

クラウドファンディングは102名 (内1名法人) の方にご協力いただきました。目標の100万円には達しませんでした。多くの方に「キルト日本展」を知っていただききっかけになりました。また海外招聘講師による特別講習会も開催することができ、キルトファンの集う機会をつくれたことも大きな成果と考えています。

公益財団法人 **日本手芸普及協会**

〒164-0013 東京都中野区弥生町5-6-11
Tel.03-5342-3670 <https://jhia.org>

- ・設立年：1969年 (2012年公益法人認定)
- ・代表理事：瀬戸信昭
- ・会員数：13000人

 Japan Handicraft Instructors' Association

第18回 **キルト日本展**

開催報告書

2026

ANNUAL REPORT



グランプリ
コンテンポラリー部門金賞・文部科学大臣賞
「素敵な時間」 赤田 千恵子

代表からのご挨拶

ご応募くださった皆様、ご支援くださった皆様、会場に足を運ばれた多くの方々に、心から御礼を申し上げます。

今回で第18回となる「キルト日本展」は、実に36年という長い歴史を積み重ねることができました。

<トラディショナル部門>、<コンテンポラリー部門>、今回3回目となる<ミニチュアキルト部門>も定着度を増し、国内はもちろん7つの国と地域から400点近くものご応募をいただきました。国際的にも高い評価をいただけるコンクールとして、確固たる成熟度を築くことができた喜びを実感しております。

応募作品のクオリティーは回を重ねるごとに上がっており、審査を担当される先生方の討議もそれに比例して難度を極めるものとなりました。そのような中で選ばれた作品は、現在においてまさに「最高峰」レベルの作品が集結しております。入選された皆様には心よりお喜びいたします。

また今回は本展の新たな可能性を拓く取り組みとして、クラウドファンディングを実施したところ、多くの方々から多額のご支援をいただき感謝申し上げます。皆さまからのご期待を受け、今後のキルト界の発展に向けて更なる取り組みを進めて参ります。



公益財団法人
日本手芸普及協会
代表理事 **瀬戸 信昭**

活動のハイライト



①白熱した2次審査会

2025年10月27日、1次審査を通過したすべての作品を一堂に集め、実物審査を行いました。全審査員が全作品を1点ずつ採点したのち投票、それらを参考に白熱した討議が行われ、全審査員の合意のもと各賞が選出されました。素晴らしい作品の数々は審査員を大いに悩ませ、審査は長時間に渡りました。審査することの難しさを感じると同時に、これからもこのコンテストが多くの方に愛され、末長く続いていきますようにと強く願いました。



②多くの方が訪れた入賞作品展

2026年4月10日-16日、新緑に囲まれた東京都美術館で入賞作品展を開催しました。会期中3,318名の方が来場され、入賞作品115点をご覧になりました。来場者数は前回（第17回）とほぼ同じ人数で、キルトへの変わらぬ関心の高さを感じることができました。5月22日-6月1日には、十日町市にて巡回展も開催。こちらも約3,000名の方が来訪され、東京都美術館とあわせて、6,000名以上の方に本展をご覧いただくことができました。



③初の試みとなった特別講演会

入賞作品展最終日の4月16日にアルゼンチンの人気キルト作家セシリア・コップマン氏をお招きし、東京都美術館講堂にて特別講演会を開催しました。会場には多くのキルトファンが集い、同窓会のような温かな雰囲気の中、セシリア氏のバックグラウンドや創作のアイデアの講演とミシンテクニックのデモンストレーションを楽しみました。これからもさまざまなかたちでキルトファンの集う機会を提供していきたいと感じる機会ともなりました。

受賞者様からの声

モノクロ写真からインスパイアされた作品を作って

「素敵な時間」コンテンポラリー部門
モノクロの写真を見ていたら、モノトーンの布で何か作りたいと思いました。大好きな花を制作していく中で、花達が素敵にうれしそうに踊っているように感じました。そこには素敵な音楽も流れているような錯覚を感じました。

グランプリ 金賞・文部科学大臣賞
赤田 千恵子様

活動を応援してくださった方からのメッセージ

大好きなキルトのために たくさんの声援がとどきました

- どの時代であれ、糸と針と布を使って装飾を楽しむところ豊かに過ごせる感性を無くしてはならないと思います。未来に向かって新しい刺繍やキルトを楽しめるように、応援しています！
- キルト作品には、作者の豊かな創造力とたゆみない制作への熱い思いと、静かな日々の息遣いが感じられます。また観たいと、願っております。
- 日本の権威あるキルトの公募展をぜひこれからも継続していただきたいと思います

- 憧れのコンクールです。いつかは！と想いながら夢んでいます。どうぞ永く続きますように…。
- 日本でのキルトの知名度は未だに低いまです。また長年、若いキルターが増えないまま業界全体が縮小の一途を辿っています。いろいろな理由がありますが、全世界的な不景気だけではどうしようもありません。その一方で刺繍や編み物はブームになっています。またキルトが見直されてキルト人口が増えるよう祈っております。
- 世界中のたくさんのキルターさんに素晴らしいキルト展が届きますように！

ご支援いただいた皆さま

あたたかいご支援をいただきありがとうございました

宮園 恵子/金澤 陽子/ひこ/大淵 美智子/さとみ/榎 政子/坂下 ひろ子/S/原田 佳久子/近江 洋子/謝 佳如/水本 幸/me--mi/な～にゃ/Denise/大山 真愉美/ダックリン/鳴川 さやか/菊地 敏子/柴山 みさ/榎本 あつ子/赤田 千恵子/大原 なつみ/渡辺 真弓/坂 くに子/山田 扶佐子/門柳 伸子/松本 友美子/中島 叔子/坂梨 富美/仁科 洋子/小島 和江/佐藤 裕子/菊地 寿江/山本 テエ子/津田昌子/こけもも/安藤 洋子/山下 公喜子/隠岐五箇牡丹園/矢野 恭子/浅野 千恵/岩田 晴美/笠間 静香/井上 文代/中川 幸子/佐藤 久美子/藤井 彩代子/カトウ キミヨ/土屋 英子/椋橋 芳子/上田 佳恵/ヤマシタ ユミコ/bubu2rb/quiltK/大庭 陽子/飛石 陽子/原 幸乃/桑原 美幸/げんき/菅原 順子/ミッチー/田中 隆行/布好き/すず/株式会社ホリウチ

※順不同・敬称略 ※スペースの都合上、一定以上のご支援をいただいた皆さまを掲載しております。



シンボルキルト
マイケル・ジェームス